



Kishi Keiko

岸恵子

スペシャルトークショー
～夢のあとさき～

女優・作家として活躍を続ける岸恵子が、さまざまな国や場所で遭遇した出来事、
出会った数々の著名人との逸話を、貴重な秘蔵写真を見ながらお送りする
スペシャル・トークショーです。

2017 9/4 月

開演 14:00 (開場 13:15) ※未就学児入場不可。

全席指定 5,500円 (税込)

わくわくホリデーホール (札幌市民ホール) 札幌市中央区北1西1

チケット取り扱い

- | | | | |
|------------------|---------------------------------|--------------|---|
| ○ 道新プレイガイド | TEL.011-241-3871 | ○ ローソンチケット | TEL.0570-084-001 (Lコード:11468) |
| ○ 大丸プレイガイド(南1西3) | TEL.011-221-3900 | ○ セブン-イレブン各店 | 店内マルチコピー機 |
| ○ チケットぴあ | TEL.0570-02-9999 (Pコード:635-697) | ○ イープラス | http://eplus.jp |

※ご購入方法によって手数料がかかる場合、お座席をお選びいただけない場合があります。詳しくはお買い求めの店舗にてお問い合わせください。

主催: 道新スポーツ、エフエム北海道、サンライズプロモーション東京、道新文化事業社 特別協力: HBC北海道放送、オントナ 後援: 札幌市、札幌市教育委員会

詳しくは道新プレイガイド
ホームページをご覧ください!

ご購入
お問い合わせ

道新プレイガイド

検索

TEL.011-241-3871

無料メルマガ会員募集中!

[宅郵便で道内どこでも指定日、指定時間帯にチケットをお届けします。]
※お客様のご負担として別途送料が加算されます。



岸惠子 Kishi Keiko

スペシャルトークショー ～夢のあとさき～

多彩かつ国際的な活動で知られる、映画黄金期が生んだ大スター・岸惠子。その人生は男女を問わず、多くの日本人を魅了しつづけています。

12歳のときに横浜大空襲を体験して、18歳で女優デビュー。川端康成原作『雪国』への出演をはじめ、小津安二郎や市川崑など名だたる映画監督たちと多くの傑作を生み出してきた女優としてはもちろん、海外旅行が困難だった時代にパリへ渡り、そこから中東・南アフリカなど当時まだ知られざる国の鮮烈な様子を目撃するなど、数えきれないほどの経験は、作家としてのキャリアにも存分に活かされています。

スペシャルトークショー「夢のあとさき」では貴重な秘蔵写真とともに、岸惠子の過去と現在、未来への声と言葉をお届けします。

自分自身を遥か遠い旅へ連れ出し、知性と大いなる勇気で困難を乗り越えてきた、ユーモアたっぷりの冒険譚をどうぞお楽しみください。

※トーク内容や画像・映像は、公演によって異なる場合がございますのでご了承ください。



▲映画「雪国」
池部良さんとのオフショット



▲パリへ向かう日1957年春



▲イラン・テヘランにて16歳の少女たちと



▲仏・シャントコックにて



▲映画「悪魔の手毬唄」市川崑監督とのオフショット

岸 惠子 KISHI KEIKO

女優・作家。横浜市出身。1951年「我が家は楽し」で映画デビューし、「女の園」、「君の名は」三部作が大ヒットし、「亡命記」で東南アジア映画祭最優秀女優主演賞を受賞した。24歳で結婚のため渡仏し、仏語・仏文化の専門校「アリアンス・フランセーズ」卒業後、ソルボンヌ大学にも進学している。その後、「おとうと」（ブルーリボン主演女優賞、毎日映画コンクール女優主演賞受賞）「黒い10人の女」「約束」「細雪」「かあちゃん」（日本アカデミー賞最優秀主演女優賞受賞）など、多数の映画に出演している。NHK衛星放送初代キャスターを務め、イスラエルのシャミール首相インタビューなどの体験から『ベラルーシの林檎』を執筆（日本エッセイストクラブ賞受賞）、『巴里の空はあかね雲』（文芸大賞エッセイ賞受賞）等数々のエッセイも執筆した。その後、小説『風が見ていた』『わりなき恋』を発表し、作家としても活躍している。『わりなき恋』では自ら脚色し、全国各地で一人芝居を公演する。2004年旭日小綬章を受章し、また、2011年にはフランス共和国政府より芸術文化勲章コマンドールを受章している。